



高精度な圧着機に関連部品需要増加、部 品精度の高度化に伴う設備アップグレード

平成25年度 補正予算事業

実施した事業の概要と成果

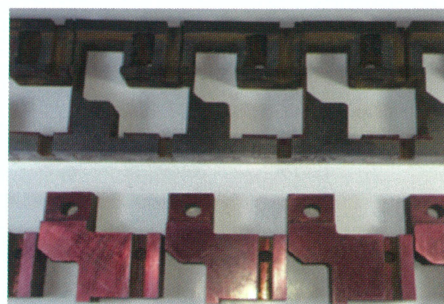
自動車販売市場における次世代型エコカー（EV 車、PHV 車）の販売数の増加により自動車用電装部品の需要が高まりつつある。特に圧着機関連部品の高精度化、短納期化への対策を講じるため、ワイヤ放電加工機を導入することでリードタイムを短縮し、ハイクオリティな製品を中長期的に安定供給する加工システムを確立することを目指した。

本事業を行った結果、加工時間の40%短縮、製品精度の向上、工程の削減に伴うコストカットなどに成功した。生産能力は150%増加したため、当初の目的は十分に達成できた。

今回の事業担当に20歳前半の若手従業員を起用しているが、今後も積極的に若手従業員を起用し、長期的なノウハウの確立を図りたい。



本事業により導入した加工機



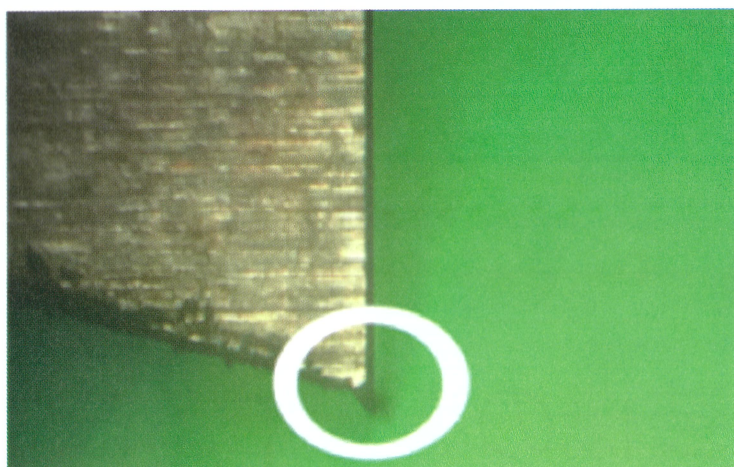
本事業により確立した加工方法



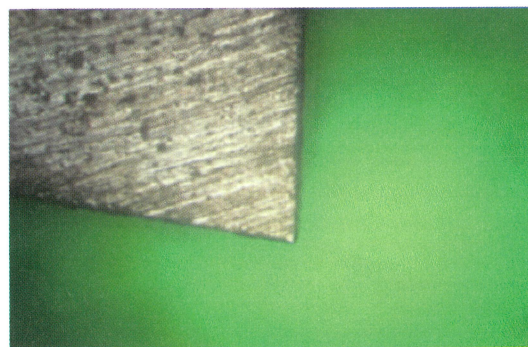
技術開発や課題解決への取り組み

当社では以前から、キャパシティの確保、パーツのハイクオリティ化、リードタイムの短縮、コスト削減等が課題となっていた。これまで保有していた機械装置では製品を個別に加工せねばならず、1回の加工に2時間程度要していたが、今回の設備投資により6時間で5個の同時加工が可能となった。

加工時間が40%削減されただけでなく、製品精度が飛躍的に向上したことで研磨工程とそれに伴うバリ取り工程を削減することが可能になった。生産能力は150%向上し、また不良品率は半減したことから、お客様のニーズに応じて臨機応変に対応できるようになった。



これまでの加工方法



本事業により確立した加工方法

事業者 有限会社 サンワ技研

代表者 代表取締役 富窪 和郎

設立年月 平成17年8月

所在地等 〒899-8606
曾於市末吉町深川1400-1
TEL: 0986-76-7413
FAX: 0986-76-7414
E-mail: s.t.a@kagoshima-sanwagiken.com
http://kagoshima-sanwagiken.com/

事業区分 ものづくり技術

資本金額 300万円

従業員数 11人

業 種 金属製品製造業

有限会社 サンワ技研 の

生魂

代表取締役
富窪 和郎



補助事業取り組みへのきっかけ・目的は？

従来当社ではマシニング加工機を使用していたが、製品精度や加工速度が不十分であったことに加え、ランニングコストが高い、焼結合金などの加工ができない等の課題があった。自動車用電装部品の需要は増加傾向にあることから、今後当社が成長していくため、また受注の機会を逃さないためにも十分な生産能力を確保することが必要不可欠であると判断し、今回の事業を実施するに至った。

今後の取り組みは？

EV 車・PHV 車のアジアへの販売網拡大に伴う販売台数増加により、圧着機関連部品の需要は今後ますます増加していくものと考えられる。また当社の製品技術は自動車産業のみならず、航空機、電子通信機器、鉄道車両等、様々な分野に応用することが可能な技術である。

今回の事業の成果を活用し、「高品質・高信頼」な製品を提供することで中長期的に競争力を発揮していきたいと考えている。